

1 章

火山活動と火成岩②

教科書 p.192~205

● 要点と重要用語の整理

- ①火山灰でできた地層…特定の火山灰の地層のように、特徴的な地層を (ア) という。関東平野に広がる (イ) や九州南部に広がる (ウ) などがある。

(ア) _____

(イ) _____

(ウ) _____
- ②火成岩…マグマが冷えるとやがて固まって岩石となる。このようにしてできた岩石を (エ) という。

(エ) _____

(オ) _____
- ③火山岩と深成岩…マグマが地表付近まで上がり、地表や地表付近で短い時間のうちに冷やされて固まったものを (オ) という。また、マグマがマグマだまりなどで長い時間をかけて冷やされて固まったものを (カ) という。

(カ) _____

(キ) _____

(ク) _____

(ケ) _____
- ④火山岩と深成岩のつくりのちがい…玄武岩や安山岩、流紋岩などの火山岩は、(キ) という小さい結晶やガラス質のものの中に (ク) という比較的大きい結晶が散らばるように組み合わせられてできている。このつくりを (ケ) という。斑れい岩や閃緑岩、花こう岩などの深成岩は、(キ) がなく、大きい結晶が組み合わせられてできている。このつくりを (コ) という。

(コ) _____

(サ) _____

(シ) _____

(ス) _____

(セ) _____
- ⑤火成岩をつくる鉱物…

(ソ) _____

(タ) _____

	黒っぽい	中間	白っぽい
火山岩	(サ)	(シ)	(ス)
深成岩	(セ)	(ソ)	(タ)

1 章

火山活動と火成岩②

教科書 p.192~205

● 練習問題

1 下のA～Cの文は、火山の噴火のようすを3種類に分けてまとめたものである。次の問いに答えなさい。

A. マグマそのものが盛り上がりドーム状になる。溶岩は(①)っぽい色である。

B. 激しい噴火を何度も起こし、火山灰などを噴出したリ溶岩が流れたりをくり返す。

C. おだやかな噴火をくり返し、多量の溶岩が何度も流れて層状に重なる。溶岩は(②)っぽい色である。

(1) 上のAとCの文の①と②に適切な言葉を入れ、正しい文を完成させなさい。

(2) マグマのねばりけがもっとも大きい火山の噴火のようすを示している文はどれか。上のA～Cの文から選びなさい。

(3) 下のア～ウの火山は、それぞれ上のA～Cの文のどれに特徴が似ていると考えられるか。

ア.

イ.

ウ.



(4) 下のア～ウの火山の噴火のようすは、それぞれ上のA～Cのどれに近いと考えられるか。

ア. 伊豆大島 イ. 桜島 ウ. 雲仙岳

(1)	① : ② :
(2)	
(3)	ア : イ : ウ :
(4)	ア : イ : ウ :

2章

地震と大地の変化①

教科書 p.206~223

● 要点と重要用語の整理 ●

□①地震による土地の変化…大きい地震が発生すると、広い範囲で崖がくずれたり、土地がもち上がったたり〔(ア)〕、沈んだり〔(イ)〕するなどの変化が起こることがある。

(ア)

(イ)

(ウ)

□②津波の発生…海底で土地の(ア)や(イ)が急激に起こると、(ウ)が発生することがある。

(エ)

(オ)

□③震源と震央…地震とは、地下で起こる岩盤のずれによって発生する現象である。地下で岩盤の破壊が始まったところを(エ)といい、この揺れが地表に届く場所で、震源の真上となる地点を(オ)という。地下で岩盤が破壊された領域を(カ)という。

(カ)

(キ)

(ク)

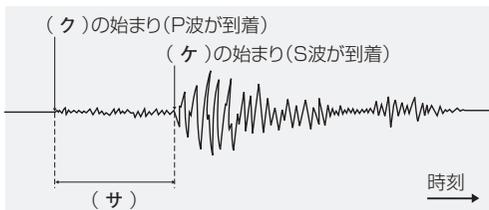
(ケ)

□④地震の揺れの大きさ…地震が観測された地点での揺れの大きさは、(キ)で表される。

(コ)

(サ)

□⑤地震の揺れの伝わり方…地震計では、(ク)という初めの小さい揺れ、それに続く(ケ)という大きい揺れが記録される。(ク)を伝える波(P波)は速く伝わり、(ケ)を伝える波(S波)はP波よりも(コ)伝わる。P波が到着してからS波が到着するまでの時間を(サ)という。



2 章

地震と大地の変化①

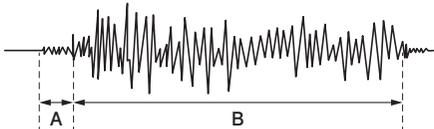
教科書 p.206~223

● 練習問題

1 地震などによって起こる現象について次の問いに答えなさい。

- (1) 海面に対して陸地が上昇することを何というか。また、陸地が下降することを何というか。
- (2) 海岸で地震による大きな揺れを感じた。この地震が海底で起こったとすると、このあとに起こると想定される災害につながる自然現象を一つあげなさい。
- (3) 下の図は、地震計の記録を表している。AとBの揺れをそれぞれ何というか。

(1)	
(2)	
(3)	A : B :



2 下の図1は地震計のしくみを、図2は地震計の記録をそれぞれ模式的に表したものである。次の問いに答えなさい。

図1

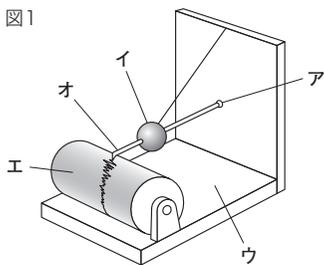
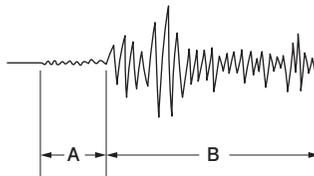


図2



(1)	
(2)	

- (1) 図1のうち、地震で揺れてもほとんど揺れない部分はどこか。ア～オからすべて選びなさい。
- (2) 図2のBの揺れを何というか。

2 章

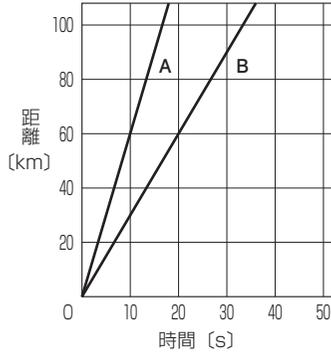
地震と大地の変化②

教科書 p.206~223

● 練習問題

1 下の図は、地震におけるP波とS波の震源から伝わる速さを表したグラフである。次の問いに答えなさい。

- (1) 地震の観測地で最初に感じる揺れを何というか。
- (2) (1)の揺れは、右のグラフのA, Bのうちのどちらの波によるものか。
- (3) 右のグラフから、P波の伝わる速さとS波の伝わる速さをそれぞれ求めなさい。



(4) ある地点でこの地震による揺れを観測したところ、初期微動継続時間が20秒であった。この地点から震源までの距離は何kmか。次のア～エから選びなさい。

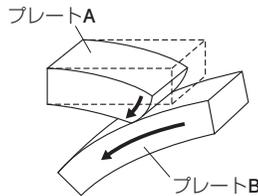
- ア. 130km イ. 120km
- ウ. 90km エ. 60km

(1)	
(2)	
(3)	P波： S波：
(4)	

2 下の図は日本列島付近で地震が起こるしくみの一例を模式的に表したものである。

この図について説明した次の文のア～ウに適切な記号を入れ、正しい文を完成させなさい。

「プレート（ア）がプレート（イ）に引きずりこまれて沈んでいく。やがてプレート（ウ）がひずみにたえられなくなってずれ、地震が起こる。」



(ア)	
(イ)	
(ウ)	

3 章

大地の歴史と地層

教科書 p.224~243

● 練習問題

1 2種類の堆積岩A, Bをハンマーで割り, その新しい面をルーペで観察したところ, 下の結果が得られた。次の問いに答えなさい。

堆積岩A: 白っぽい灰色で, 細かな粒できている。

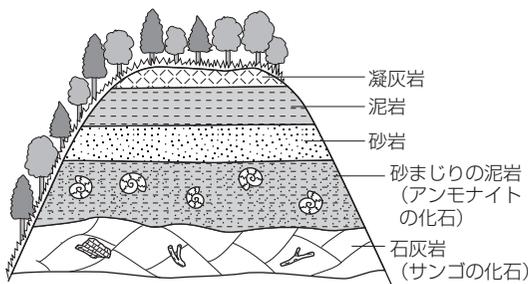
植物の葉の化石がふくまれている。

堆積岩B: 白っぽい灰色で, 非常に細かな粒がすき間なく集まってできている。

- (1) 堆積岩A, Bのそれぞれにうすい塩酸を数滴かけたところ, 堆積岩Aでは変化は見られず, 堆積岩Bでは二酸化炭素が発生した。堆積岩Bの岩石名は何だと考えられるか。
- (2) 岩石を観察する場合, ハンマーで岩石を割ってその新しい面を観察するとよい。その理由を具体的に書きなさい。

(1)	
(2)	

2 下の図は, ある地層のようすを表したものである。次の問いに答えなさい。



- (1) 泥岩と砂岩は何を基準にして区別しているか。
- (2) 凝灰岩はおもに何がもとになってできているか。
- (3) 海がもっとも浅かったと考えられるのはどの層が堆積したときか。
- (4) 砂まじりの泥岩の層が堆積したのはどの年代か。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	